

## 春長 新町 メッセージ

# 豊かな未来に向けて 発展し続ける町を目指して

明けましておめでとうございます。  
平成29年の新年を迎え、  
謹んでお祝い申し上げます。

### 県選手団が活躍した 希望郷いわて国体・いわて大会

昨年は、希望郷いわて国体・いわて大会  
が開催され、県選手団は天皇杯・皇后杯と  
もに第2位という素晴らしい成績を残し  
ました。東日本大震災が発生した際には、  
一時開催が危ぶまれたこともあり、感慨  
深いものがあります。

当町では、自転車競技の熱戦が5日間  
にわたリ繰り広げられました。町出身選  
手の活躍もあり、県選手団は総合成績第  
6位と健闘しました。皆さんのご協力を  
いただきながら、数年がかりでおもてなし

などの準備をしてきたこともあり、非常  
に盛り上がった大会となりました。期間  
中、約1万9000人の方々にご来場いた  
だき、他県から来場した人が「観戦者が多  
くて驚いた」と話しているのを耳にし  
ました。国体は終わりましたが、今後も紫波自  
転車競技場やロードレースの拠点施設と  
して整備した佐比内サイクルパーク「金輪  
の丘」の一層の活用を図ってまいります。

平成31年には金石市でラグビーワール  
ドカップの開催が予定され、準備が進めら  
れています。また、平成32年には東京オリ  
ンピックが開催されます。町がこれらの大  
会の会場となることはありませんが、事  
前キャンプや練習場として利用される可  
能性は大きいと考えます。さまざまな  
機会を捉えて、町にある施設の活用をア  
ピールしてまいります。



新春座談会(P4)の参加者たちと一緒に、しゅっせで撮影



## 進化を続ける オガールプロジェクト

現在も、全国から多くの方々がオガールプロジェクトの視察に訪れています。昨年12月には役場の会議室などを会場に、内閣官房人事局による「平成28年度幹部候補育成過程中央研修」が開催され、各省庁から選ばれた課長補佐級の職員18人が来町しました。このような機会は、町職員にとっても良い刺激になったと考えます。

オガール地区のD街区(役場庁舎南側の区画)では昨年11月、官民複合施設「オガールセンター」が竣工しました。小児科クリニックと病児保育施設、アウトドアシヨップやトレーニングジムなどが順次開業予定です。2階には、町が「紫波町子どもセンター」を設置し、4月から業務を開始します。この施設は「子どもの育ち相談室」「幼児ことばの教室」「適応支援教室」「はばたき」の3つの機能を持ち、子どもの育ちを支援することを目的としています。

また、同じD街区には民設民営で定員150人の「オガール保育園」が開園します。このエリアを子育て支援エリアとして展開してまいります。

さらには公民連携事業の一環として、引き続き口詰地区のリノベーションまちづくりにも並行して取り組んでまいります。

役場旧庁舎については、現在はその跡地利用の在り方について検討を行っているところです。

## 町の豊かな魅力を 発信していきます

紫波インターチェンジ周辺の農地を他用途の事業に使用できるように法的整備がようやく整います。これを機に、積極的な企業誘致に取り組み、産業の振興を図ってまいります。

また、県はI-LC(国際リニアコライダ)誘致に積極的に取り組んでいます。これは将来への大きな夢であり、当町の子どもたちからもこの事業に携わる人材が輩出されることを期待しています。町の豊富な食材や文化、スポーツは外国の研究者にとっても魅力あるものと考えますので、これらの情報について今後も広く発信してまいります。

結びに、皆さまの本年のご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

紫波町長 熊谷 泉

